

2026年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 東洋史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2026年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 (東洋史 専攻分野)

成	意

I 以下の中国古典文につき、(1) 貸与された赤鉛筆を用いて句読(、。)を切り、(2) 現代日本語に訳せ(赤鉛筆は句読を切るときのみ使用)。

余爲兒童時嘗聞祖母集慶郡太守陳夫人言江南有國日有縣令鍾離君與縣令許君結婚鍾離女將出適買一婢以從嫁一日其婢執箕帚治地至堂前熟視地之窠處惻然泣下鍾離君適見怪問之婢泣曰幼時我父於此穴地爲毬窩道我戲劇歲久矣而窠處未改也鍾離君驚曰父何人婢曰我父乃兩孝前縣令也身死家破我遂落民間而更賣爲婢鍾離君遽呼牙繪問之復質於老吏是

「穴」当作「穴」

「孝」当作「考」

得其實是時許令子納采有日鍾離君遽以書抵於令而止其子且曰吾買婢得前令之女吾特怜而悲之義不可久辱當輟吾女之奩篋先求壻以嫁前令之女也更俟一年別爲吾女營辦嫁資以歸君子可乎許君荅書曰蘧伯玉耻獨爲君子何自專仁義願以前令之女配吾子然後君別求良與以嫁君女於是前令之女卒歸許氏祖母語畢歎曰此等事前輩之所常行今則不復見矣余時尚幼恨不記二令之名姑書其事亦足以激天下

「與」当作「壻」

之義也
鍾離名壻
 令肥人也

(魏泰『東軒筆錄』より)

受験記号番号

Ⅱ

(1) ～ (5) につき、知る所を日本語で簡潔に述べよ。

(1) 廂軍

(2) 塩鉄会議

(3) 入唐求法巡礼行記

(4) 御製朋党論

(5) 青木正児

Ⅲ 次の英文を日本語に訳せ。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

